取扱説明書 ―― 保管用

yamada

屋外用スポットライト

（防雨型）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

お客様へ　：この器具の取り付け工事は必ず電気工事店（有資格者）にご依頼ください。
　　一般の方の工事は法律で禁じられています。
工事店様へ：工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡ししてください。

■仕　様

品　名	適合ランプ
AH-4787	RX7S HQI-TSﾗﾝﾌﾟ　150W×１灯
AH-4788	FC2 HQI-TSﾗﾝﾌﾟ　250W×１灯

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警 告　説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注 意　説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
🚫　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警告

🚫 一般屋外用器具（防雨型）です。
振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、海岸隣接地帯（塩害地域）では使用しないでください。
★いずれの場合も器具の転倒や落下、破損によるケガ、漏電・感電事故の原因となります。

🚫 人が容易に触れる場所には設置しないでください。
★高温のためヤケドする恐れがあります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。
○補強材の無い場所への取り付け（ボックスに取り付ける場合を除く）○石膏ボードなど弱い建材面への取り付け
○凹凸のある面には取り付けないでください。　○雨水が地表面にたまる場所や、雪で器具が埋没する場所
★防水性能が損なわれ、感電や漏電事故の原因となります。
○浴室など湿度の高くなる場所への使用　○サウナへの使用
★器具の破損によるケガや漏電、感電事故の原因となります。

🚫 取り付け方向が指定されている器具は、取扱説明書および本体表示にしたがって、正しい方向に取り付けてください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災や感電、器具落下による「けが」の原因となります。

🚫 ドライバーなどの異物を差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

🚫 器具を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

❗ 電源電圧は安定器に指定された電圧の許容範囲内で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。
低い電圧で使用すると、不点灯やチラツキなどの不良点灯や、器具の故障の原因となります。

❗ 使用地域の電源周波数（50ﾍﾙﾂまたは60ﾍﾙﾂ）にあった安定器を使用してください。
★間違って使用すると、火災の原因となることがあります。

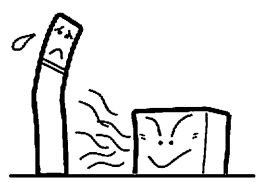
🚫 安定器からランプ（ソケット）までの管灯回路長は，
指定の長さ以下で使用してください。
★不良点灯の原因となります。

🚫 指定ランプ以外の使用はしないでください。
★不良点灯や短寿命の原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯や調光器、器具の故障の原因となります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★異常過熱によるカバーの変形や火災の原因となります。

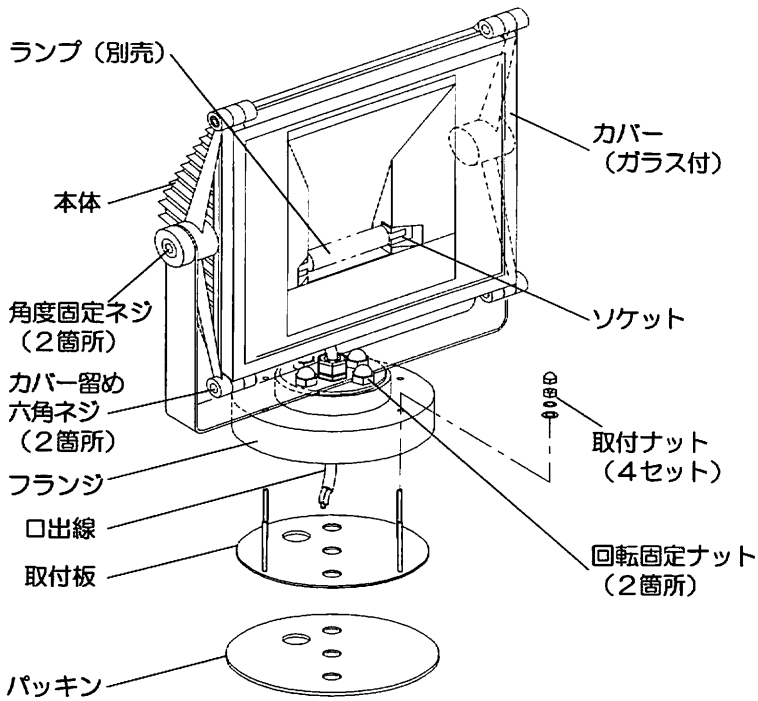


🚫 ヒビの入ったカバーや一部が欠けたカバーは使用しないでください。
★カバーの破損、落下の原因となります。

🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

各部の名称
（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】

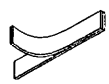


【付 属 品】

取扱説明書（本書）　・・・・・1枚

保証とアフターサービスについて
・・・・・1枚

パッキン　・・・・・1枚



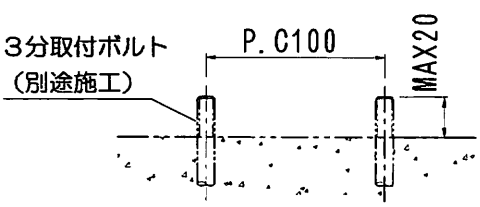
自己融着テープ　・・・・・2枚

六角レンチ　・・・・各1本
（大・小2種類）

取り付け場所の確認

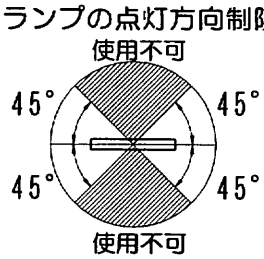
⚠ 警告 ❗ この器具はボルト止め専用です。必ずボルトにて取り付けてください。
★取付に不備があると、器具落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

■取付ボルトのピッチと出し寸法



❗ 必ず補強材のある場所に取付けてください。
①取付位置に図の様に取付ボルトが施工されている事を確認してください。
②取付面に凹凸がないか確認してください。

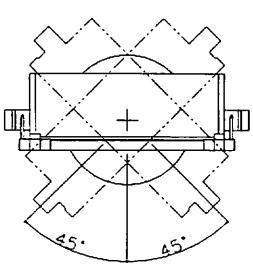
■壁面取付時のランプの点灯方向制限



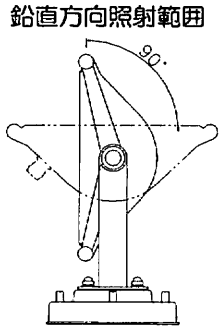
❗ この器具の指定ランプには点灯方向に制限があります。
ランプ点灯方向が必ず上図の範囲内に収まるように取付けてください。
★ランプの取扱説明書に沿ってご使用ください。

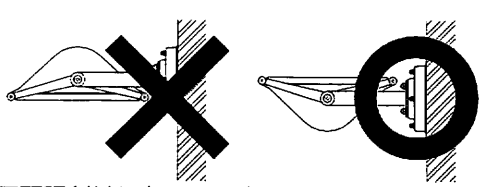
■照射方向の確認

水平方向可動範囲



鉛直方向照射範囲





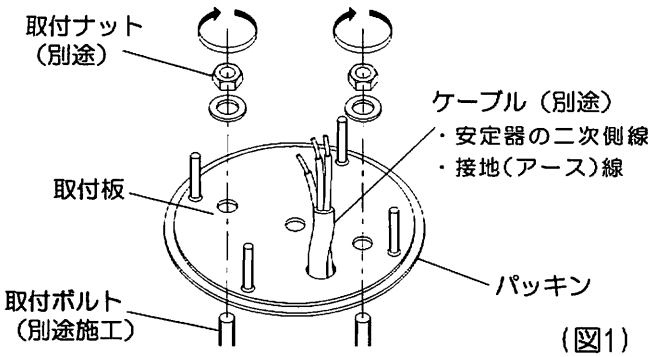
⃠ 下面照射はしないで下さい。
照射方向は左図範囲内で使用してください。
★指定以外の方向に取り付けると、火災の原因となります。

❗ 照射距離は照射物より1m以上離してください。
★過熱による火災の原因となります。

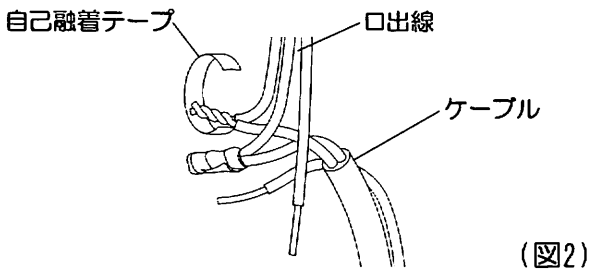
取り付け方　⚠ 注 意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となります。

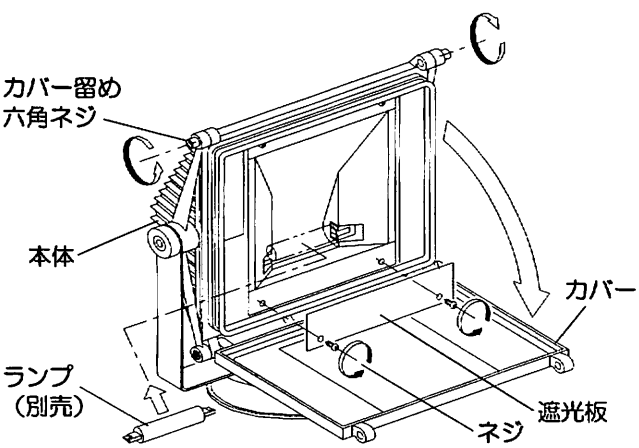
●器具を取り付ける前に、取付板・カバーを本体からはずします。
フランジにセットされている取り付けナット等をはずして、取付板を本体からはずします。



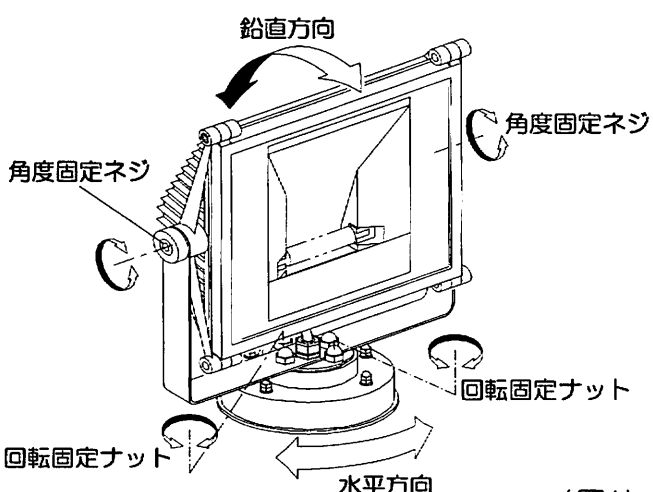
（図1）



（図2）



（図3）



（図4）

1. 取付板を取り付けます。(図1)

パッキンと取付板の電源孔から電源線と接地（アース）線　を引き出し、別途施工の取付ボルトに取付ナット(別途)でパッキンと取付板を取り付けます。

⚠警告 締め付けが弱かったり隙間があると、感電・漏電や器具落下による器具その他の破損やケガの原因となります。
器具取り付け面には、フランジ内への雨水浸入防止のため平らな面に必ずパッキンを介して取り付けをしてください。
★不良の場合、感電・漏電の原因となります。

2. 電源線を接続します。(図2)

ケーブルの被膜をむいて口出し線と接続してください。
その際、D種接地工事を施してください。

⚠警告 裸線が見えない様に自己融着テープでしっかりと巻きつけた上、絶縁テープを巻いてください。
★不良の場合、感電・漏電の原因となります。

3. フランジを取付板にセットし、ゴム座・座金･取付ナットでしっかり締め付けてください。

⚠警告 ゴム座・座金は必ずはめ込んで本体と取付け面に隙間が出ない様、しっかり締め付けてください。
★締め付けが弱かったり、隙間があると感電・漏電や器具落下による器具その他の破損やケガの原因となります。

4. カバー留め六角ネジ２箇所を六角レンチ（小）で緩めカバーを開けてください。その後、ネジを緩めて遮光板をはずしてください。(図３)

5. ランプをソケットにセットします。(図３)

⚠注意 ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。
★ランプの取扱説明書に沿ってセットしてください。

6. 遮光板をネジでしっかりと取り付けた後、カバーを本体ナット穴にあわせ、カバー留め六角ネジ２ヶ所を均等に締め込んでください。

7. 照射方向の調整をします。（図４）

水平方向：フラランジ上段の回転固定ナット２箇所をゆるめます。灯体を軽く持ち上げ、方向を決め固定ナットをしっかりと締付けます。

上下方向：本体側面の角度固定ネジを六角レンチでゆるめます。本体に手をそえて、方向を決め角度固定ネジをしっかりと締付けます。

⚠警告 照射距離は照射物より1m以上離してください。
★過熱による火災の原因となります。

スイッチ操作

スイッチにて「ON－OFF」操作を行います。

⃠ 点灯中器具、特にガラス表面は高温になりますので、ふれないでください。

⃠ ガラスは強化ガラスを使用していますが、割れることもありますのでご注意ください。

お手入れについて　⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

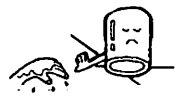
●ランプ交換について：ランプが黒化して明るさが低下しましたらランプの寿命です。
器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

❗ ●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

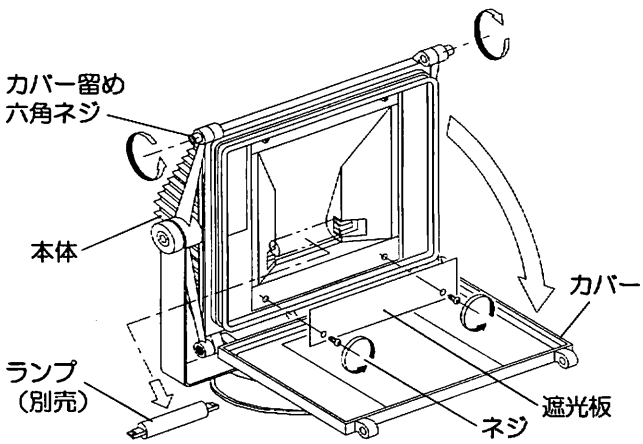
●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。
★火傷の原因となります。

●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**



●ランプは乱暴に扱わないでください。　**★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。
●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

◆ランプの交換



1．スイッチを切ります。

2．カバーを開いて、遮光板をはずします。
（『●取り付け方』４の項目をご参照ください）

3．古いランプをはずします。

4．新しいランプ（別売）をセットします。
（ランプの取扱説明書に沿って交換してください。）

5．遮光板とカバーをセットします。
（『●取り付け方』６の項目をご参照ください）

◆お手入れのしかた

1．スイッチを切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、器具の型名（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。